

郷祭りの変遷

五個荘地区には、建部祭・小幡祭が郷祭りとして行われています。少し遡れば、五個祭りも行われていました。この「郷祭り」は、複数集落により組織された不思議な団体で、各神社の主祭神の影響も、神職による神道的指導も入らず運営されています。

郷祭りの発生の歴史を振り返り、先人達の思いに近づいてみましょう！

日時 令和 7 年 1 月 19 日(日曜日) 午後 1 時 ～ 午後 2 時半頃

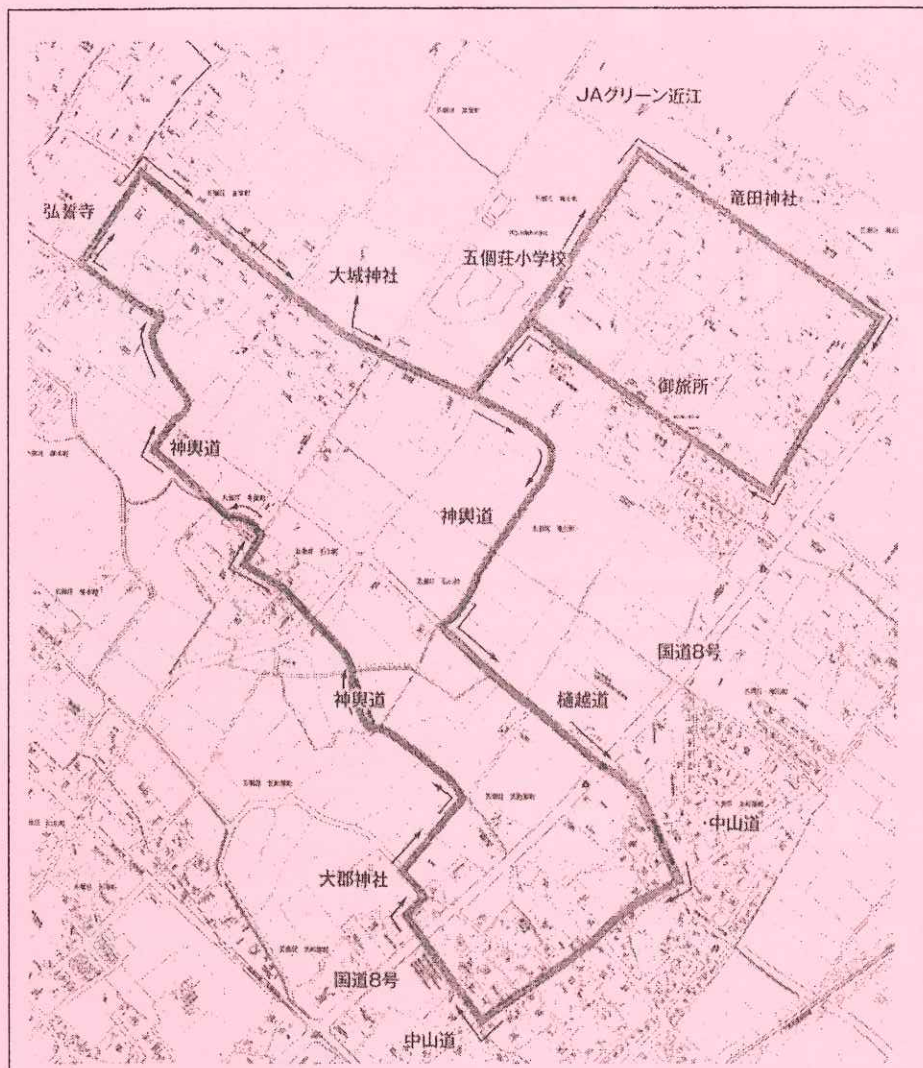
場所 五個荘コミュニティセンター 二階 大会議室

TEL 0748-48-2737

小幡デコを守る運動の一貫として、同時に小幡デコの展示会を行います。

☆ 発熱・風邪症状のある方は、ご参加をお控えください。

☆ 筆記用具はご持参ください。



この地図は、五個祭の「ホンビ」の渡御順路です。戦後でも、しばらくはおこなわれていましたが、現在は、各町内での居祭りになっています。

平安時代に始まったと伝わる「郷祭り」は、参加村落には、氏神神社が有るにも拘わらず、千年を超える期間、宮座[郷寄り]主催の祭祀を運営し続けてきました。

滋賀県でも、湖東地方に多く観られるこの宮座集団の祭祀運営を、風俗学者は、農業に関する水利慣行が運営の基盤にあると推定していますが、土地の支配権力者が幾度となく変化し続けてきている五個荘地区の郷祭りが現在も存在し続ける謎を探ってみましょう。

神輿や祭祀の器具の制作には、多額の金銭の負担が想像できますが、各村の住民が知恵を出し合い、負担して来た歴史にも、今一度見直す機会が必要な時代になってきています。